

2022年度

立教大学 経済学部

インターンシップ

体験報告書



目次

01	はじめに	2	03	体験報告	8
	本報告書作成に関して			・ アイペット損害保険株式会社	
	謝辞			・ AMWコンサルティング株式会社	
	派遣企業リスト			・ 株式会社イオレ	
	その他ご協力者			・ 株式会社大塚商会	
				・ 株式会社 企業変革創造	
				・ 株式会社三栄コーポレーション	
				・ 株式会社フジサワ・コーポレーション	
				・ 株式会社フジタ	
				・ 日本システム技術株式会社	
				(五十音順)	
02	授業概要	4	04	Q & A	31
	授業の狙い			・ この授業の魅力	
	履修学生が考える授業の特色			・ 実践準備と支援	
	気になる授業の中身			・ この授業で身につく力	
	履修学生詳細				
	担当教員紹介		05	後輩へのメッセージ	32
	担当教員インタビュー				
			06	終わりに	33

01 はじめに

本報告書作成に関して

正課「インターンシップ」科目は、単なる就活対策の一環として経済学部には設置されていません。

この先も続く個々の長い人生（＝キャリア）がどうすれば豊かになるのか、自ら望む職業観や生き方について大学時代に考えることは大きな意義があります。また、自らの考えを履修学生同士や担当教員、インターンシップ実習先の方々と共有し、さまざまな考え・アプローチ方法を吸収することで、考えが更に深まり、柔軟で可能性に満ちたものになっていきます。

本報告書では、夏季休暇中に履修学生が参加したインターンシップや1年を通じた授業での学びについて紹介しています。

本報告書が正課インターンシップ履修を考えている大学生の皆様の後押しになれば幸いです。

謝辞

2022年度も立教大学経済学部の教育活動に多大なご理解・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

コロナ渦で未だ先行き不透明な状況にもかかわらず、快く我々を迎えてくださった皆様のご厚意に改めて厚く御礼申し上げます。実施期間中において多岐にわたるご指導・ご支援をいただいたおかげで、仕事に対する理解や学業の目的について考える契機となりました。

一方で、受け入れのお申し出をいただきながらも、残念ながら実施が叶わなかった企業の皆様にはこの場を借りましてお詫び申し上げます。

今後とも立教大学ならびに経済学部にならぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

経済学部インターンシップ科目
2022年度履修学生一同

01 はじめに

派遣企業リスト

- ・ アイペット損害保険株式会社
- ・ AMWコンサルティング株式会社
- ・ 株式会社イオレ
- ・ 株式会社大塚商会
- ・ 株式会社 企業変革創造
- ・ 株式会社三栄コーポレーション
- ・ 株式会社フジサワ・コーポレーション
- ・ 株式会社フジタ
- ・ 日本システム技術株式会社

(五十音順)

その他ご協力者

インターンシップの事前・事後学習におきまして、以下の方々にご指導いただきました。記して感謝申し上げます。

立教経済人クラブ 林 雄太様

株式会社 企業変革創造 藤田 聡様

本学キャリアセンター 河崎 真理様
江原 つむぎ様

経済学部 会計ファイナンス学科4年 長内 将輝さん

02 授業概要

授業の狙い



就業体験を通じて企業活動の現場を体感し、大学での「学び」の意義を再確認するとともに、自分自身のこれからのキャリアや生き方について具体的に考えていくことができるようにしていきます。(※シラバスより)

履修学生が考える授業の特色

1. 初心者が履修してもマインドセットと事前準備 ・学習ができて安心

どうしてインターンシップに行くのでしょうか？

この授業では、自分と向き合いながら目的意識と目標を明確に設定します。なりたい自分と今の自分との差、つまり理想と現実のギャップを言語化し、そのギャップを埋めるために企業で様々な体験に挑みます。インターンシップは成長するための絶好のチャンスです。

2. 自分の潜在的な可能性を伸ばし、学びの多い企業 に出逢える

早くも志望業界を狭めてはいませんか？

当インターンシップの派遣先は、学生の希望を重視するのではなく、各学生にとって「企業との新たな出逢い」「まだ自分も気づいていない可能性を発見できる機会」になるよう決定しています。よく知らない業界や企業に飛び込んでみると、そこにしかない発見や感動が得られます。

3. 担当教員含めた学内外の様々な人の経験から得られる 学びが多い

就職の型にはまろうとしていませんか？

キャリアは勿論のこと考え方や価値観も十人十色です。この授業では、社会で活躍する先輩たちの様々な考えに触れることができます。自分の可能性を広げることで、ありたい将来の自分を描いていく力を養います。

※詳細は立教シラバスをご覧ください。(2022年度)

<https://sy.rikkyo.ac.jp/timetable/slbssbdr.do?>

[value\(risyunen\)=2022&value\(semekikn\)=1&value\(kougicd\)=BX319&value\(crclumcd\)=](https://sy.rikkyo.ac.jp/timetable/slbssbdr.do?value(risyunen)=2022&value(semekikn)=1&value(kougicd)=BX319&value(crclumcd)=)

02 授業概要

気になる授業の中身

おもな年間のスケジュール

春学期

- インターンシップの目的と意義理解
- 特別講義（複数開催）
- 履歴書作成（自己分析、相互添削）
- ビジネスマナー講習

夏休み

- インターンシップ参加

秋学期

- 個人体験報告
- 全体での報告書作成



写真提供：立教大学経済学部キャリア教育運営委員会
<https://twitter.com/rikkyoecocareer>



～特別講義～

様々なフィールドでご活躍される方々に講義をしていただきます。講師との距離が近く気軽に質問できるなど、双方向的な講義展開も魅力のひとつです。

立教経済人クラブ 林 雄太様

経営者の視点やご経歴から、リーダーシップを発揮する自信と責任感、逆境をチャンスに変えるバイタリティーなどを学びました。



株式会社 企業変革創造 藤田 聡様

就職力測定テストを用いて自分の現状を理解した上で、理想の自分に近づくためには目標を逆算しながら行動すること、自分の中の指針として目的意識が重要であることなどを学びました。



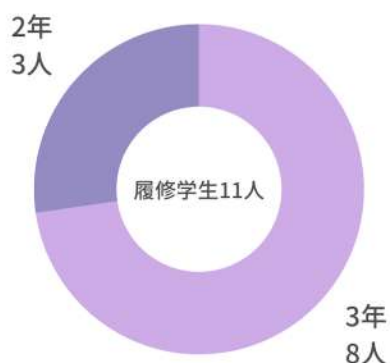
～個人体験報告～

後期の授業では、インターンシップで経験したことや成長について個人で発表します。終了後に他の履修学生や担当教員からの鋭い質問やフィードバックを受けると、自分では気がついていなかった「失敗」や「弱み」を思い知るため、より生きた反省になります。改めて自分の弱点や課題が整理されることで、克服に向けて現実的に行動することができず。

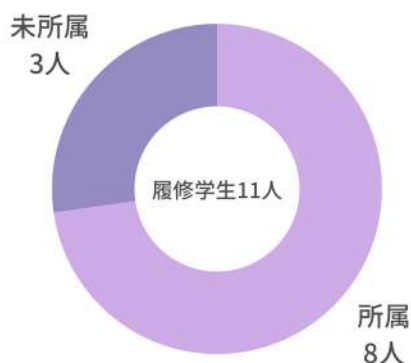
02 授業概要

履修学生詳細

学年比率



ゼミナール所属比率



担当教員紹介



おきな あやか

翁 理香先生

立教大学経済学部 特任准教授

担当科目

「インターンシップ」 「課題解決演習C」 「課題解決演習B」
「キャリアデザイン論」 「キャリアコンサルティング論」

新卒社員として大手人材紹介会社に入社。
コンサルティング業務、人事部を経験し2010年に独立。
大学教員として「キャリアデザイン」関連科目担当講師を
務める他、法人向けにコンサルティングにも従事する。

- 米国CCE.Inc.認定GCDF-Japanキャリアカウンセラー
- 国家資格キャリアコンサルタント

02 授業概要

担当教員にインタビュー

1. インターンシップ参加前後の学生たちの成長や変化を感じましたか？

現在も進行形で皆さんの成長と変化を感じています。

特に履修学生全員が主体的に動くようになったと感じています。インターンシップ参加前の春学期授業では、受け身的な行動姿勢を感じることも多かったのですが、インターンシップ参加を経た秋学期の授業では履修学生全員が、自ら課題を発見し解決の為に周囲を巻き込み能動的に行動する姿が目立つようになりました。

また、自分が学びたいことや極めたいことに気付き始めた学生や、働くことに対する不安や悩みを解消され、期待感を抱けるようになったことも変化の一つと言えます。

2. 新しい価値観に出会い続ける為に翁先生がしていることは何ですか？

大きく分けて3つあり、「自分の好奇心を否定しない」・「本を読むこと」・「旅に出ること」が挙げられます。「自分の好奇心を否定しない」に関しては、クランボルツ博士のPlanned Happenstance Theoryを大切にしています。具体的な行動としては、新しい場所に行くこと・新しい人に会うこと・新しいことに挑戦することを心掛けています。年齢に縛られずに、好奇心の向くままに足を運んで「経験を試みること」が自分自身でも気づかない可能性を拓くためにも大事な心構えだと思います。また「旅に出る」ことは、自分の基軸を確立させる上でも重要だと思います。実際に現地を訪れることで、行動範囲のエリアとの違いに気づくことができるだけでなく、体感を通じてこれまで自分が気づかなかった感性や、大切にしたい「観」を発見することができます。この繰り返しにより、「自分の軸」の確立が確かなものになると考えます。

編集後記



今回インタビューを通して担当教員と対話したことによって、インターンシップに参加したからこそ、未知の仕事内容を具体的に知ることができたと再確認しました。また、今までとは違う新しい場に足を踏み入れることは自分自身を成長させる上で重要だと感じました。

このインタビュー記事を通して、この授業や担当教員の考えなどが少しでも伝われば幸いです。

03 -1

企業名

アイペット損害保険株式会社

コーポレートサイト <https://www.ipet-hd.com/ja/index.html>

業界

ペット保険業界

事業内容

ペット保険事業
ご契約さま向けサービス
ご契約者さまを含む飼い主さま向けサービス

会社規模

従業員数：533名（2022年3月31日時点）

PROFILE

名前

坂本 百合子

業務内容

- 課題解決ワーク（付保率向上施策を考えよ）
- 営業アシスタント業務と営業同行

学年・学科

2年・経済政策学科

趣味

1人カラオケ
ホットヨガ

志望理由

- ①【チームで活動する機会を増やす】
大学入学後、チームでの活動の重要性や難しさを痛感した。そこで、チーム主体で活動する機会を増やしたいと考えた。
- ②【自分一人では気づけない自分を知りたい】
普段の授業での活動を通して、チームの中での自分の立ち位置を知りたいと考えた。また、インターンシップを通して新たな自分を発見しようと思った。

印象に残ったエピソード
「等身大の自分で良いんだよ」

人事担当の方にかけていただいた言葉が今でも印象に残っている。一週目の最終日に行った、課題解決ワークの中間報告の時期、私はアイデア考案に行き詰り焦りを感じていた。「こんなに手厚い指導をしてくださっているのだから、期待に応えたい」という想いが強かったためだ。しかし、人事担当の方に温かい言葉をかけていただいたことで、無理して背伸びせず、今出せる自分の精一杯を出し切れればいいのだ、という意味で肩の力が抜けた。

03 -1 実習における学び

1 インターンシップを経験して自分自身の変化

アルバイト含め
漫然と日々を過ごす



日々の経験の積み重ねを
意識するように

授業やアルバイト、ゼミナール等をこなしながら何となく生活していた。忙しい日々には忙殺されていたわけではないが、成長意識が欠けていたように思う。また、「たかがアルバイト」と考えており、アルバイトもお金を稼ぐだけの手段でしかなく、憂鬱な気持ちで取り組んでいた。

課題解決ワークを経て、普段の何気ない日常での経験が役立つ機会があることを学んだ。また、意識を変えるだけで、今までと変わらない日常が自分の糧になっていくことを感じるようになった。例えば、アルバイト1つとっても、毎回の出勤で目標意識を持ってモチベーションを高く取り組むようになった。

2 インターンシップ前後での自分の仕事観の変化

今だけを切り取って
企業を知ったつもり



企業の変遷と今後のビジョン
をつなげて見るように

企業のホームページの企業理念やIR情報を何となく流し読みするだけで企業分析をしたつもりになっていた。また、「大企業かベンチャー企業か」など、単純な括りをしてしまっていた。

インターンシップに参加している中で、企業分析の際、「今までどんな事業をやってきており、どのように変化してきたか」、「数年後あるいは数十年後どのようなビジョンを描いているのか」を知ろうと思った。私は、会社全体の志が高く、常に成長し続けようとする企業に惹かれると気づいた。

03 -2

企業名

AMWコンサルティング株式会社

コーポレートサイト

<https://amwconsulting.co.jp>

業界

コンサルティング業界

事業内容

経営/事業/組織に関するコンサルティング
経営/事業/組織に関する調査・判断コンサルティング
ビジョン達成のための人材教育コンサルティング
教材・テキスト・書籍の企画/制作/編集および販売

会社規模

従業員数：6名（2022年9月時点）

PROFILE

名前

吉清 日向子

業務内容

- クライアント訪問
コンサルタントアテンド・仕事オブザーブ
- コンサルティングの仕事準備
書類づくり・梱包

学年・学科

3年・経済学科

趣味

お城・古墳巡り
資料館巡り

印象に残ったエピソード

「ファイリング作業は
単純作業ではない」

志望理由

① 【将来に不安を感じたため】

現在、資格取得を目指している。その中で、資格による仕事が向いているのか、他に向いている仕事がないのか不安に思ったため。

② 【相互フィードバックが魅力】

メンバーとインターンシップ体験を共有できることが魅力だと思ったため。自分自身が活動するだけでは仲間の失敗談や成功談の知識を得ることが出来ない。

書類のファイリングは、単純作業ではないことを学んだ。スピード性を重視し作業を行っていた。しかし、書類をファイリングしながらもどのような内容のものが入っているのか吸収することが大切であり、作業では自己価値を成長させることは出来ないと教えて頂いた。自己価値を成長させる機会は、このように多くあるのに気がついていないだけであると感じた。

03 -2 実習における学び

1 インターンシップを経験して自分自身の変化

何を重視すればいいのかわからない



自己研鑽と自己価値を高めることが重要

将来を考える中で、何を重視して考えれば良いのか分かっていなかった。また、自己研鑽も必要であるとは思っていたが、一番重要であるとは思っていなかった。

仕事は、顧客や世の中の需要が大切であることを学んだ。日々顧客や世の中の需要は変化するため、自己研鑽の重要性を感じた。また需要はあるが自分にしか出来ない仕事に魅力を感じ、自己価値を高めたいと思った。したがって今後のキャリアの軸において、自己研鑽と自己価値を高めることが一番重要視したいと決意することが出来た。

2 インターンシップ前後での自分の仕事観の変化

営業職は大変そう...



営業職も興味深い仕事

営業職は、何度も商品の説明をして断られる中で企業や個人の家を訪れるというイメージがあり、精神的にきつそうな仕事であると思っていた。仕事をする中で営業は必要な仕事であるが、積極的な興味を示していなかった。

営業とは、コミュニケーションや人の繋がりを楽しみながら商品の取引に繋げるものである事を学んだ。実際に商談に参加させて頂く中で、一番最初に商品の説明をしていないことに驚いた。信頼関係を築く為に最近のこと等を話していたためである。このように場をあたためてから、商談に繋げることを営業とするならば、営業とは人と人とのつながりであることを実感した。

03 -3

企業名

株式会社イオレ

コーポレートサイト

<https://www.eole.co.jp/>

業界

広告・インターネット関連・情報処理

事業内容

インターネット広告事業
PC、スマートフォン向けサービス事業
らくらく連絡網をはじめとしたアプリ運用
運用型求人広告プラットフォームの開発・運用

会社規模

従業員数：78名（2022年9月30日時点）

PROFILE

名前

米座 健太郎

業務内容

- 就活×メタバースの新規事業立案
- フレームワークを用いた新規事業開発

学年・学科

3年・経済学科

趣味

ガチャガチャ巡り
ハンドメイド

印象に残ったエピソード
「地道な努力の積み重ね」

志望理由

①【就活の第一歩】

3年になり個人でのインターンシップだけでなく様々なものに参加したいと考えていたから。事前準備をサポートしてもらえる点も魅力的だった。

②【視野を広げる】

自分では見つけにくい、選ばない企業を知ることは視野を広げることにつながると考えたから。仕事だけでなく自分を知るきっかけにもしたいと思った。

企画・新規事業の地道な作業を体験することができたことである。新たな商品やサービスを生み出すというキラキラした部分が目を引くが、その裏には「いかにお客様に利用してもらえるか」を追求した地道な作業があった。根拠に基づく提案をするため、「誰を対象にどのようなコンセプトで事業を進めていくか」という最も重要な箇所での迷いや難しさを体感できたことで、非常に視野が広がった。

03 -3 実習における学び

1 インターンシップを経験して自分自身の変化

アイディアには発想力が必要なのか？



知識を関連付ける力がアイディアを生み出す

アイディアが出ず思い悩む場面が多く、自分には創造性がない、発想力がないと思っていた。情報収集も丁寧に行い、課題の分析も行っていたが、今あるものを発展させる程度で、全く違った新しいアイディアを生み出すことに難しさを感じており、そこに必要なのは発想力だと思っていた。これは一種の才能のようなもので、仕方ない事だと諦めていた。

”調べる”ことの重要性を学んだ。これは単に与えられたワードから答えを探すように調べるのではなく、自分の持つ様々な知識を関連付けて、違った角度から情報を見つめ直すことで今までにない発想へとつながることがある。そして新しいアイディアは自分の知識の中からはしか生まれないため、普段から情報感度を高めておく必要があると感じた。

2 インターンシップ前後での自分の仕事観の変化

内定＝ゴールと認識



入社後を見据えたキャリアを意識するように

仕事に対する漠然としたイメージで判断していたため、内定がゴールになっていた。有名な大企業であることや、仕事におけるキラキラした面だけで判断していると、入社前後でギャップが生じてしまうことは、頭ではわかっていたが、どうしても行動が伴っていなかった。これは仕事が自分から遠いもので具体的に想像できていなかったことが原因だと思う。

学生時代と社会人になってからの価値観の変化についてお話を伺った。働き方や福利厚生に加えて、自分が働く姿をより鮮明にイメージすることの重要性を教えて頂いた。仕事選びとは、自分の向き不向きと、好き嫌いの掛け合わせであり、この折り合いをうまくつけて自分が活躍できる場所で働くということも一つの選択肢であることを学んだ。

03 -4

企業名

株式会社イオレ

コーポレートサイト

<https://www.eole.co.jp>

業界

広告・インターネット関連・情報処理

事業内容

インターネット広告事業
PC、スマートフォン向けサービス事業
らくらく連絡網をはじめとしたアプリ運用
運用型求人広告プラットフォームの開発・運用

会社規模

従業員数：78名（2022年9月30日時点）

PROFILE

名前

佐藤美由紀

業務内容

- 学生である私たち目線での「メタバース×就活」の新規事業立案
- フレームワークを用いて事業案の検討
- 新規事業の最終発表

学年・学科

3年・経済学科

趣味

旅行・筋トレ
ダンス・散歩

印象に残ったエピソード
「見た目＜内容の資料」

志望理由

①【将来像を考える】

就職活動が頭によぎり始めた2年の冬にこの授業を知り、週に一回将来を考える機会を作るためにも志望した。

②【成長を再び】

課題解決演習Cを履修したことがあり、グループでの立ち回りを学び成長を感じた。次は自分自身に焦点を当てたいと思った。

最終発表の際に、資料を褒めていただいたこと。ゼミや他の授業での資料作成の経験を活かすことができたと感じた。一方で、内容について言及していただけなかったことが反省点だ。原因としては、聞き手の立場に立って資料を作ることができていなかったことが挙げられる。この事業案を作った背景やどこに課題を感じたのかというデータ収集が不足していた。現状と課題の把握が土台となることを学んだ。

03 -4 実習における学び

1 インターンシップを経験して自分自身の変化

無意識に
視野を狭めていた



社会をより広い視点で
見るようになった

将来についても、目の前の課題に対しても、一つ考えが思いつくと満足していた。そのため、複数の意見を出すことや新たな視点から物事を見ることに慣れておらず、無意識のうちに視野を狭めていた。結果的にアイデアを出すことに苦手意識を持ってしまっていた。

案の定、新規事業案を考えるにあたって、アイデアが全く浮かばない場面に直面した。アイデアは知っていることの中からしか浮かぶことがないため、視野を広げることが幅広いアイデア発想につながることを実感した。その結果、日々の生活から様々なものに興味を持って視野を広げるよう意識が芽生えた。

2 インターンシップ前後での自分の仕事観の変化

ネームバリューだけを見ていた



「どこ」より「何」を
重視するように

企業名だけで就職先を考えており、そこで自分が何をするのか、何を実現したいのかを考えていなかった。「大企業だから安定」や「経済学部だから金融業界」といった安直な考えで視野を狭めていた。総じて、内定をもらうことがゴールであると考えていた。

実際に様々な企業を経験されている社会人の方とお話することにより、日々行う業務である「何」をするかが重要であることを学んだ。企業は自分の成し遂げたいことを実現させる場所であることを知り、幅広く業界や企業規模を見るきっかけとなった。

03 -5

企業名

株式会社大塚商会

コーポレートサイト

<https://www.otsuka-shokai.co.jp>

業界

情報・通信業

事業内容

システムインテグレーション事業
IT機器・システムの導入
サービス&サポート事業
たのめーる・たよれーる運用

会社規模

従業員数: 7,480名 (2021年12月31日時点)

PROFILE

名前

江上 和希

業務内容

- 1dayインターンシップ
(営業、SE、SIer)
- インターンシップ振り返りプレゼン
- 合同説明会プレゼンテーション

学年・学科

2年・経済政策学科

趣味

サッカー

志望理由

①【勤労観を培う】

社会人としての労働は、責任を伴う。社会人として求められる考え方・態度・行動について本授業を通じて培いたい。

②【就職活動に向けた早期準備を行う】

ビジネスマナーをはじめ、履歴書、ES、自己分析、業界研究など就職活動に向けた事前準備を早めに行いたい。

印象に残ったエピソード 「常に相手目線」

インターンシップ実習中に派遣企業先の担当の方がおっしゃっていた、常に相手目線で物事を考える必要があるという言葉が印象に残っている。自分が今誰に対して話をしているのか、聞き手が求めている情報は何かを常に考えなければ、聞き手のニーズを満たせなくなる。また、接続語などを使うことで論理的でわかりやすい言葉になり、聞き手がより理解しやすくなる。この言葉から、いかに相手のことを考えることが大切なのかを学んだ。

03 -5 実習における学び

1 インターンシップを経験して自分自身の変化

職種に対する漠然とした
イメージ



それぞれの職種を経験する
大切さ

インターンシップを経験するまでは、それぞれの職種に対して抱くイメージがとても漠然としていた。何となく、SEといえば、理系の人ができる仕事で専門知識を必要とするようなイメージだった。しかし、今回のインターンシップでその認識は変わった。

今回SEのインターンシップに参加したが、SEには上流、下流工程がある。上流工程では文系学生にもできる仕事（要件整理等）だと言う話を聞き、自分の固定観念的なイメージに縛られていると視野が狭まってしまうことを認識した。これからは、実際にいろいろなことを経験することで視野を広げたい。

2 インターンシップ前後での自分の仕事観の変化

年功序列



努力は報われる

日本的経営と呼ばれる日本企業の特徴の三つのうちの一つである年功序列は若者の勤労意欲を下げていた。自分も、新入社員の頃はどれだけ頑張っても、どれだけ成果を出したとしても一定の評価しか得られないのではないかと思っていた。

今回のインターンシップで、年功序列という特徴は少しずつ変わってきており、頑張れば頑張った分だけ評価されるような仕組みが確立されてきていると感じた。だからこそ、向上心を持って自ら努力し、高められるような企業に就職したいと思えた。

03 -6

企業名

株式会社 企業変革創造

コーポレートサイト

<https://www.v-change.co.jp>

業界

人材コンサルティング

事業内容

人材評価
人材開発(教育研修)
採用支援
組織人事コンサルティング

会社規模

従業員：7名（2018年5月時点）

PROFILE

名前 吉田 萌人

学年・学科 3年・経済学科

趣味 ランニング

業務内容

- 社長主催ランチョンセミナーの集客
- 就職力測定テストの営業
- ベンチャー企業採用支援プロジェクトの戦略考案とプレゼン
- 留学エージェント再生プロジェクトの戦略考案とプレゼン

印象に残ったエピソード

「考え過ぎずとりあえず行動する」

志望理由

①【チームワークでの成功体験を得る】

2年時履修の「課題解決演習B（演習科目）」でのチーム活動で、自ら積極的に関係構築すれば良かったと後悔の念があり、授業で成功体験を積むため。

②【インターン先での偶然的な出会い】

キャリアの選択肢を広げるために、偶然の「人」と「企業」との出会いを得て成長につなげたい。

私は性格上、準備や計画に時間をかけすぎてしまい、営業のアクションを起こすことが出来ずにいた。そんな私を見た社長から、「考え過ぎずに、とりあえず行動してみる」とアドバイスをいただいた。企業変革創造の行動憲章にも、「感じて、即行動せよ！」という条文があるのだが、勇気を出して行動への一歩を踏み出したことで、新規顧客を獲得することができた。

03 -6 実習における学び

1 インターンシップを経験して自分自身の変化

自己分析が進まず、
自分に無知な状態



動機付け要因と衛生要因の
自己理解

インターンシップに参加する前は、自己分析に全く手を付けていなかった。そのため、どんな時に自分のモチベーションが上がるのか、逆にどんな時に下がるのかを理解していなかった。ルーティン化した日々の中で、自分の感情の変化について鈍感になっていた。

インターンシップ後の反省と自己分析を通じて、「自分にとってオフィスで働くという職場環境が衛生要因であること」「競争環境に置かれた際に、自分は内発的なやる気が湧いてくること」の2点を新たに気づくことができた。そして、日常生活においての自分の感情の動きに敏感になった。

2 インターンシップ前後での自分の仕事観の変化

キャリアプランについて
未着手な状態



キャリアプランの
取捨選択を実行

インターンシップ体験前は、明確なキャリアを描くことができていなかった。自分のファーストキャリアの選択で、将来が全て決まってしまうような気がしており、行動することを躊躇していた。ただ漠然と、「大手企業の研修制度が整っていそうだから、大手が良さそう」という気持ちがあった。

闇雲な大手志向を考え直すキッカケになった。会社依存したキャリアを考えるのではなく、経験できることや職種から考えることを意識するようになった。インターンシップ中に、社長からベンチャー企業の魅力を教示していただいたこともあり、社長直下の小規模の会社ならではの良さも意識して、キャリアプランを描くようになった。

03 -7

企業名

株式会社三栄コーポレーション

コーポレートサイト

<https://www.sanyeicorp.com/>

業界

商社(インテリア)

事業内容

OEM事業
(海外の向上を利用してたブランドの商品の製造)
ブランド事業
(Formio、BIRKENSTOCK、CHASSEURなど)

会社規模

従業員数：1,096名（2022年5月時点）

PROFILE

名前

梶村 ちひろ

業務内容

- 商談、催事、社内検討会見学
- 組立指示書の英訳、組み立て指示書作成

学年・学科

3年・経済政策学科

趣味

書道
カフェ巡り

印象に残ったエピソード
「動かなければ、成長はない」

志望理由

- ①【自分が変わるきっかけにしたい】
インターンシップでの経験や環境が可能性の幅を狭めてしまう自分に変化をもたらしてくれるのではないかと考えたから。
- ②【就活に不安があった】
2週間就業体験を行うことで自分の強みや弱みを直接的に見つけ、自身の選択肢を広げることができると思ったから。

この言葉はインターンシップ初日の人事部研修の際に出てきた言葉である。この研修で成長には「自分を高める・深める・広げる」の3つの方向があることを知った。成長は多方向に広がっており、きっかけを拾うのが自分次第だということを感じた。インターンシップ期間中は自分が成長するために積極的な行動を意識することが出来た。

03 -7 実習における学び

1 インターンシップを経験して自分自身の変化

何事も完璧にやりたい



限られた時間の中で自分が
できる最大限のことをやる

これまで何事も完璧にやりたいという思いが強く、時間がある限り満足いくまで取り組んできた。インターンシップを始めたばかりの頃は期待を裏切らないように完璧を目指していた。しかし、やるべきことが多くなっていくうちに全てが中途半端になってしまった。

社会人になると限られた時間の中でいかによりよいものを作り上げるかが大切になってくることを学んだ。私自身、業務中は初めてのことばかりだったため、自分なりに完璧にやろうとばかり考えすぎていた。自分の限界値を知るという意味でも決められた期間の中で最大限の力を発揮することが大切であると学んだ。

2 インターンシップ前後での自分の仕事観の変化

保守的な仕事選び



自己実現のきっかけに

留学に行くことを決める前、就活を進めていく中で、私の働くことの最大の目的は収入機会や財政機会であり、新しい挑戦をし続けるよりは、保守的に安定した働き方を望んでいた。また、自分が現時点で知っている業界や職種からやりたいこと決めようとしていて、更なる学びを得ようとせず選択肢を勝手に狭めてしまっていた。

インターンシップ初日の人事部からの働き方講座の中で「人間が仕事をつまらなくしている」という言葉がとても印象に残っている。自分が与えられたものが業務なのか、自身を成長させるためのライフワークなのかによって成長度合いが全く異なる。自分がどうなりたいのかの思いを実現するために仕事をすることで自己価値の高まりにもつながると考える。

03 -8

企業名 株式会社フジサワ・コーポレーション

コーポレートサイト <https://fujisawa-corp.co.jp/#start>

業界 広告業界

事業内容 大型インクジェット印刷
屋内外広告の制作・加工・施工
広告・宣伝の企画やコンサルティング
不動産、損害保険、教育事業

会社規模 従業員数：80名（2022年10月時点）

PROFILE

名前 日下部 充

業務内容

学年・学科 3年・経済学科

- 企画会議から制作や施工の現場を見学
- 営業訪問に同行

趣味 旅行、街ぶら

印象に残ったエピソード
「自社提案とデジタル活用で
企業価値の向上を目指す」

志望理由

- ①【働くということを知りたい】
どんな考えをもって仕事をしているのか、実際の職場に身を置くことで将来自分が働くイメージを膨らませたいと思ったから。
- ②【科目としてのインターンシップに魅了】
いわゆる就活に今ひとつ身が入らなかったのも、授業を通じて他の履修者から刺激を受けることでモチベーションを高められると考えたから。

コンサルティングファームの参入や5Gの普及などによる「新たな需要」に応えるべく、商品開発や企画を活発に行うことで提案の幅を広げている。特にデジタルサイネージの会議では、AR技術を活用した新しい宣伝手法を知ることができた。アクセス数を集計することによりその広告をどれだけの人が見たのかを把握できるため、費用対効果を可視化することが期待される。広告の進化だけでなく、企業の自己改革の意識が高いことに胸が熱くなった。

03 -8 実習における学び

1 インターンシップを経験して自分自身の変化

広告とはなにか
漠然としたイメージ



自分の興味の深化
につながった

商品の魅力や素晴らしさを伝えることに興味があったものの、話題性のある広告や事業規模の大きな代理店など、自分の携わろうとする対象が狭く表面的なものに偏っていた。

しかし華々しい広告の裏には、多様な素材や繊細で巧みな技術が元となり、さらにそれらを掛け合わせて形にする企業同士の協働活動が存在する。

制作という「デザインを具現化する」一端を知り、広告がより身近に様々な形で存在していることを実感した。さらに、どんな媒体を使って誰に向けて発信したいのかを考えるようになった。デジタル革新が進み広告の表現が一段と多様化する中で、自分なりの「最適なコミュニケーション」を選択するために今後も探究していきたい。

2 インターンシップ前後での自分の仕事観の変化

収入のための苦役



楽しみと社会貢献

労働は生きる上での主要な手段だが、社会人にとって辛い義務のように思えた私は度々逃避しようと考えていた。しかし広告業で働く方々の姿からは、人の心を動かす楽しさや喜びが感じられた。そしてその誠実で細やかな仕事の一つひとつが、経済活動において消費を促すという意義のあるものだと言われた。

労働を前向きに捉えるようになり、自分が働く目的や意義を少しずつ固めている。それは単純に収入を得るためではなく、仕事とその成果を通じて成長や楽しさを感じるからだ。そしてさらには、社会の一構成員として真の豊かさに貢献することも大切にしたい価値観に加えた。再来年には、この目的を共有し実現できる企業に入社したい。



03 -9

企業名

株式会社フジサワ・コーポレーション

コーポレートサイト

<https://fujisawa-corp.co.jp/>

業界

広告業界

事業内容

大型インクジェット印刷
屋内外広告の制作・加工・施工
広告・宣伝の企画やコンサルティング
不動産、損害保険、教育事業

会社規模

従業員数：80名（2022年10月時点）

PROFILE

名前

仲川 怜希

業務内容

学年・学科

3年・経済政策学科

- ・営業同行
- ・企画プロジェクト参加
- ・制作・施工現場見学

趣味

古着収集

印象に残ったエピソード

「多くの目に触れるやりがい」

志望理由

- ①【キャリアに対しての不安を払拭するため】
少人数の対面授業を通して就活に対する漠然とした不安に対して授業でキャリアについて考え積極的に意見の言える場を通して払拭するため。
- ②【自分の知らない業界を知るため】
チームで毎回の授業で意見の言い合える授業を受けることによって自分が知りえなかった業界の魅力について客観的に理解するため。

実習の二日目に社員の方が梅酒の会社の広告についての話をしていた。そしてその広告が六日目に実際にポスターとなって完成されていた際に出来上がったポスターをみて感動した。実際に自分が広告業を仕事にして、自分の携わった広告が実際に町の中で役割果たしていることはより感動するのではないかと感じたからだ。他の業界のどの業界でも、社会に貢献しているものはあるが実際にそれが形となって、役立っているのを見ることができるのは広告業ならではないことだと感じた。

03 -9 実習における学び

1 インターンシップを経験して自分自身の変化

疑問点は何事も聞く



自分自身で仮説を立ててその確認をする

自分は今までアルバイトとして働いている最中に限らず普段の生活でもわからないことがあったら、逐一なんでも聞くようにしていた。なぜなら、わからないことや自分では解決できないことを聞かないで自分で行ってしまうことでミスが発生すると考えていたからである。

しかし今回のインターンシップの中で営業同行をさせてもらったときに、働いている社員さんの姿を見て、自分の想像を超えるほど忙しいと気づいた。だからこそ何事も聞いて相手の時間を無駄にするのではなく、自分の中で仮説を立て、その確認をするということによって相手の時間を奪うことなく疑問点が解消できると感じた。

2 インターンシップ前後での自分の仕事観の変化

労働時間重視



業務内容重視

自分にとって何がやりたい仕事なのかわからなかった。だからこそ何を基準に仕事を決めてよいか分からなくなっていた。仕事について今まで考えていく中で、重要な条件として勤務時間や勤務地などを一番に自分の中の軸として決めていた。しかしインターンシップを通して考えが変わった。

インターンシップ内でのデザインプロジェクトなどを通して、自分は0から1を生み出すことや、どのようにしたら人が来るか、人を楽しませることができかなどの自分の考えが世間に直接伝わる仕事を楽しいと思える人間だと気づいた。だからこそ時間ではなく業務を重視した仕事選びをしようと感じた。

03-10

企業名

コーポレートサイト

業界

事業内容

会社規模

株式会社フジタ

<https://www.fujita.co.jp/>

総合建設業（ゼネコン）

建築事業
海外事業
まちづくり事業
土木事業

従業員：3,494名（2022年4月1日時点）

PROFILE

名前

狐崎 瑠璃

業務内容

学年・学科

2年・経済学科

- 人事部等、各部署などフジタについて知る
- 海外駐在の方との交流
- 課題に対してのグループワーク

趣味

散歩・展覧会巡り
チャイ巡り

印象に残ったエピソード
「海外駐在の方々との交流会」

志望理由

①【自分の知らない世界を知る】

これまではアルバイトを通してでしか、働くということを知らなかったが、インターンシップを通して自分の知らない分野を学びたいと思った。

②【自分が自ら見てこなかった分野を知る】

先生がインターンシップ先を決めてくださるので、自分が自ら選んでこなかった分野を体験することができ、新しい自分を知りたいと思った。

海外駐在の人のお話をリアルタイムでお聞きし質問までできる時間の際に、全員が日本と現地の文化の違いを述べると共に「日本と違う刺激が楽しい」と違いを楽しんでお仕事をされていることが印象に残った。例えば、中国では職場に来てからごはんを食べることだ。私は中華料理屋さんでアルバイトをしており、タイムカードを切ってから賄いを頂くことが当たり前だったため、驚きを覚えるとともに、私も海外で働き自分と現地の違いを見つけたいと思った。

03-10 実習における学び

1 インターンシップを経験して自分自身の変化

なんとなくぼーっと
生きていた



何事も吸収する人になると
決意

登壇者の話でさえ、凄いと感じた点や参考にしたと思う点、心にとめておきたい点についてはメモをこれまでもしていたが、ぼーっと話を聞いてしまっている時もあった。

インターン生の1人が5日目、10日目の1週間のまとめ資料発表の際に、他のインターン生の発表を聞いて、自分の考え方との違いや凄いと感じた点を熱心にメモに取っていた。その人の発表や着眼点はいつも優れていて、どんな状況でも自分の学びにして、吸収する人に私になりたいと感じた。

2 インターンシップ前後での自分の仕事観の変化

知っている範囲のみで
将来を考える



知らない分野も積極的に
知りたい

知らない分野や業務については、私自身の偏見により自分にとって合うかどうかを考え、合わないと考えたら、将来の選択の幅から完全に消して考えてしまっていた。

海外開発事業など、未知の分野の事を知れて、この分野は面白そう、この分野は私に合わなそうということを理解することができた。実際に知らないと、詳しく業務内容など分からないので、知らないから将来として考えないのではなく、まずは知り、自分にとっての適性を知ろうと思った。

03-11

企業名

日本システム技術株式会社

コーポレートサイト

<https://www.jast.jp/>

業界

IT業界

事業内容

システムコンサルティング
システムインテグレーションサービス
パッケージソフト開発・販売・導入・保守サービス
ビックデータ分析・活用サービス

会社規模

従業員数：871名（2022年3月31日現在）

PROFILE

名前

横倉 侑子

業務内容

学年・学科

3年・経済学科

- SE体験
UI（画面）をテスト項目に沿って間違いがないか確認する
- 「あったらいいなと思うITサービス」
についてのプレゼン

趣味

読書・フルート

印象に残ったエピソード
「上流なのか下流なのか」

志望理由

①【1人で行くことに不安があったから】

私の性格上、いってそのままになってしまうと考えたため、しっかり振り返りができる点で、自分と合っていると考えたため。

②【将来やりたいことがあやふやだったから】

自分が将来就きたい職業が定まっておらず、どのように選んだらいいのか悩んでいたため。

SEの仕事の中でも、人に接する上流の仕事なのか、プログラミングをひたすらする下流の仕事なのかで全く違うという話が印象的だった。どんな仕事に就いても、どこらへんの位置で仕事をするのか、自分がやりたいことに近いか研究することが、入社後のギャップを小さくすることにつながると教えていただいた。新卒は人生に一回しかないため研究を怠らないようにしたいと思ったエピソードだった。

03-11 実習における学び

1 インターンシップを経験して自分自身の変化

考えすぎてしまって
挑戦できない



とりあえずやってみる
話してみる

以前の私は考えすぎてしまう癖があり、考え方が偏ってしまっていた。また、心配になってしまい新しいことなどを始めることができないことが、大きな短所だった。

とりあえず行動を起こすことが大事だと学んだ。実際に、プレゼンの作成で行き詰まってしまった際に、私が拙いと思っている内容で社員の方に相談をしたところ、ヒントなどをくださった。その際に、とりあえず話してみたりやってみて進むこともあるのだと学んだ。恐れすぎて何もできないことの方が勿体無いことだと感じた。

2 インターンシップ前後での自分の仕事観の変化

面白そうな
職種を選びたい



その職種や業界が
誰に向けているのかをみる

長く続けたいと思っていたため、自分が直感的に面白そうと感じる職種や業種につきたいと考えていた。インターンシップを経験し、周りの意見も聞く中で、直感的に選んでしまうと、短期的では楽しく感じても、長期的に考えるとモチベーションを持続させることが難しくなると学んだ。

職種や業界にも誰に向けたサービスや商材を扱っているのかの違いがあり、同じ名前の職種や業界でも全く違う仕事であることを知った。自分の経験をもとになぜその仕事をやりたいのかを追求して今後のキャリアを考えていきたいと思った。ファーストキャリアは今後の人生を大きく左右するため、自分がしたいことの軸を明確に決め、業界と職種を決めていきたい。

コラム：授業でのSlack活用

ビジネスチャットSlackというアプリケーションをご存知ですか？
この授業ではSlackを活用して、担当教員そして履修学生同士で、
授業外でも積極的にコミュニケーションを取り合っています。

例えば…

- ・担当教員からの連絡、参考資料の共有
- ・リアクションペーパーの投稿とフィードバックコメント投稿
- ・インターンシップ実習期間中のモヤモヤ感の吐露と激励



Slackの良い点

- ①授業関係者全員が情報を共有・閲覧できるオープンスペース
- ②テーマごとに複数チャンネルを作って情報を整理できる

夏季休暇中は授業がないため、インターンシップ参加期間中にわからないことがあったとき「Slackで繋がっている」という安心感に
支えられました。

画像引用元：<https://slack.com/intl/ja-jp/downloads/windows>

04 Q & A

Q.1

他のインターンシップとこの授業のインターンシップの違いは？

自分もしくは少人数だけが参加し、より社員に近い立場で、より実際の仕事に近い業務に携われ、仕事に対するより深い理解ができるようになります。



セミナーだけでは得られない「働く」を体験できることです。実際に近いビジネスを体験できるため、社会人の方の考え方やキャリアビジョンを学ぶことができます。



Q.2

インターンシップに行くまでにどんなサポートがありますか？

インターンシップ参加前の準備だけでなく、ビジネスマナーや敬語、服装など社会人の基本を学びます。またキャリアについて深く考え、社会人基礎力の向上も目指します。



自己理解のきっかけを何度も与えられました。自分の内面や理想を言語化できたことで具体的な目標が定まり、万全を期してインターンシップに臨むことができました。



Q.3

この授業を受けて、どのような力や知識を得られましたか？

自分と向き合いキャリアをどう考えるのか、何が大切なのかを学ぶことが出来ました。私は、自分が1番何をしたいのかを軸に将来を考えるきっかけとなりました。



考えをアウトプットする習慣が身につきました。毎回のリアクションペーパーはもちろんのこと、プレゼンやフィードバックの機会に恵まれている為、すぐに力がつきます。



05 後輩へのメッセージ



この授業は2週間のインターンシップを通して「働くことは何か」ということを考えることができます。将来自分がどのような職業に就いたらいいかわからない人や、やりたいことが決まっている人など様々な人に履修していただきたいです。自分の知らなかった自分を発見できます！



私は、今まで、大学卒業後について考えることを避けてきました。しかし、毎週の授業、さらには夏のインターンシップ体験とその振り返りを通して、今まで頭の隅に追いやっていた将来について、前向きに考えることができるようになりました。2年生でこの授業に出会えて本当に良かったです！



私はゼミに所属していないため、グループでの授業に不安を持っていましたが、全く心配いりません！また、授業を通してみんなとコミュニケーションを交わしていく中で自分のやりたいことや自身だけの価値観などが明確に言語化できることがこの授業ならではのおすすめポイントだと思います！



私はこの授業を通じて自分に自信がつけました。2週間のインターンシップではもちろん、毎週の授業でも主体的に考えることが多く、自分ができることを発見する機会になり、成長に繋がりました。一方向の授業では経験できないことを経験することができ、多くのことを吸収できます！



何事にも向き合う熱量が高い学生が多い点が、他の授業とは違うこの授業のおすすめのポイントです。課題を自ら発見して解決のために行動をする方が多く、立ち振る舞い方や着眼点などを履修学生から毎回学びを得ることができ、お互いに高めあうこともできます！

06 終わりに

最後までご覧いただきありがとうございました。

毎回履修学生同士で議論を行い、様々な意見の共有や交換ができるのは、正課インターンシップが少人数制の授業であるからこそだと思います。この授業で得られた経験は、将来のキャリアを形成する際に大きな力となることを確信しています。この授業での学びに少しでも興味を持たれた方は、ぜひ履修してみてください。

末筆ですが、1年間厳しくも温かくご指導くださった翁先生並びに、親身になってご支援くださったキャリアサポーター佐藤さん・万福さんに心より感謝申し上げます。

2022年度「インターンシップ」履修学生一同

江上和希・日下部充・狐崎瑠璃・坂本百合子・佐藤美由紀
梶村ちひろ・仲川怜希・横倉侑子・吉清日向子・吉田萌人
米座健太郎





立教大学